

## 第20回ドリームチャレンジ賞 応募申請書 兼 活動実績報告書

年 月 日

広島大学校友会会長 越智 光夫 殿

広島大学同窓会会長 原田 康夫 殿

校友会会員番号	001100000000
申請代表者氏名 (ふりがな)	広大 光 (ひろだい ひかる)
所属・学年・学籍番号	教育学部2年 B251234
活動グループ又は所属	●●●●ボランティア
電話 (携帯)	080-0000-0000
Eメール (PC)	b251234@hiroshima-u.ac.jp

活動テーマ	●●●●プロジェクト
共同活動者人数	申請者を含む 20名
活動期間	2026年 ●月 ●日 ~ ●年 ●月 ●日
助成金申請額	150,000円

**1. 活動計画の概要**

(1)~(5)について、**独創性・ドリーム性・チャレンジ性・社会貢献性・発展性**の観点を踏まえてご記載ください。特に重要なポイントについては、必要に応じて下線やマーカーなどで強調してください。

**(1) 活動テーマの背景**  
本活動テーマを設定した理由や背景について、分かりやすく示してください。

**(2) 活動の目的**  
本活動の目的および達成したい成果について、簡潔かつ明確に示してください。

**(3) 活動の必要性**  
本活動が必要とされる理由について、目的や活動内容との関係を踏まえて分かりやすく示してください。

**(4) 活動の特徴**  
本活動の特徴を分かりやすく示してください。

**(5) 期待される結果**  
本活動の実施によって期待される成果や効果を分かりやすく示してください。

**2. 活動実施計画** 活動計画の概要を踏まえ、活動計画ごとに記載してください。

※記入例を参考に、項目ごとにまとめてご記載ください。

**【記入例】**

**① ボランティア団体との交流会 @東広島芸術文化ホールくらら (2026年11月頃開催予定)**

2026年11月(予定)に東広島芸術文化ホールくららにおいて、東広島市内および近隣地域で活動する複数のボランティア団体を招き、各団体による活動紹介、他団体との意見交換、少人数での交流セッションを実施します。質疑応答やフリートークの時間を設け、具体的な活動内容や参加方法について理解を深められる機会とします。

**② 清掃活動 @下見地区 (開催時期は未定)**

下見地区において、自治体と連携し、ゴミ拾いや公共スペースの清掃などの環境美化活動を実施します。活動時期は自治体と調整の上で決定する予定です。また、活動前には事前説明、活動後には振り返りの時間を設け、経験を振り返り学びを深められるようにいたします。

**③ イベント運営補助 2027年4月～2027年6月頃 (イベント開催日に応じて実施予定)**

地域のボランティア団体や自治体が主催するイベントにおいて、  
.....  
.....

**3. 経費の必要性**

本活動の実施に必要な経費について、目的や活動内容に沿って分かりやすく示してください。

**4. 収支計画 (様式2へ記入)**

**5. その他**

①前回ドリームチャレンジ賞の採択団体は活動状況(進捗状況等)を記載してください

②他の機関等への重複申請・採択状況について

有 (●●市スタートアップ支援 4月1日採択決定 申請金額●●万円 )

無

●応募申請書は1～5の項目合わせて2ページ以内で作成すること

活動グループ	●●●●ボランティア
活動テーマ	●●●●プロジェクト
共同活動者人数	20名
活動期間	2026年 ●月 ●日 ～ ●年 ●月 ●日
助成金支給額	150,000円

**6. 活動内容・成果** 活動ごとに、実施日・活動場所・参加人数・活動内容を写真も含めてご記載ください。あわせて、本活動によって得られた成果についても、具体的かつ分かりやすくご記載ください。

**【記入例】**

- ① ボランティア団体との交流会 @東広島芸術文化ホールくらら  
2026年11月22日 参加人数：学生8人、ボランティア団体関係者：15名

東広島市内および近隣地域で活動する5団体を招き、各団体による活動紹介を実施した。その後、団体間の意見交換や少人数での交流セッション、質疑応答・フリートークの時間を設け、具体的な活動内容や参加方法について理解を深める機会を提供した。

**【活動成果】**

地域ボランティア団体の活動内容を具体的に理解し、関心のある活動へ主体的に参加する意欲の向上につながった。また、少人数交流を通して学生同士および団体とのコミュニケーション能力・協働力が高まり、今後の継続的なボランティア参加への意識醸成を図ることができた。



写真

●●の様子



写真

●●の様子



写真

集合写真

- ② 清掃活動 @下見地区  
2026年12月15日 参加人数：学生15人、自治体関係者：7名

自治体と連携し、学生15名が参加してごみ拾いや公共スペースの清掃活動を実施した。活動前に事前説明を行い、安全上の注意点や清掃エリア、役割分担を確認したうえで活動を行い、終了後には振り返りの時間を設け、参加者同士で感じたことや学んだことを共有した。

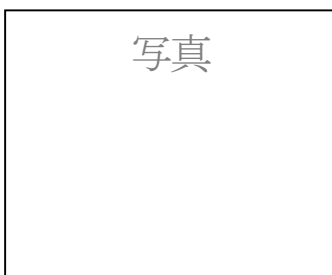
**【活動成果】**

地域環境の美化活動を通じて、地域社会への貢献意識を高めることができた。協働作業を通してチームワークや責任感が向上し、振り返りを通じて自身の行動や学びを整理することができた。さらに、学生の主体的な社会参加への意欲が醸成され、地域活動への理解も深まった。



写真

●●の様子



写真

●●の様子

## 7. 活動の反省、今後の課題等

活動を通して得られた反省点や改善点、今後の課題等を記載してください。

### 【記入例】

時間配分や作業の効率化など、改善が必要な点も明らかになりました。これらの課題を踏まえ、今後はより多くの学生が主体的に参加できる工夫や、継続的に地域活動に関わる仕組みづくりを進めていくことが重要です。今回の活動は、学生の社会参画意識の向上や地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。

## 8. 収支報告 (様式2へ記入)

●活動実績報告書は6・7の項目合わせて2ページ以内で作成すること